滝高フロンティアサイエンス通信

第　6　号

2013, 4, 25　　SSH 理数科

２学年　理数科校外研修　宮島沼巡検　本日 14:20　学校出発！！

２学年理数科３９名、理数科校外研修に向かいます。内容は昨年に引き続き、宮島沼巡検「宮島沼の自然とマガンねぐら入りねぐら立ちの観察」です。残念ながら天候が芳しくありませんが、五感フル活用のフィールドワーク（野外観察、野外調査活動）は机上では学べない自然環境の魅力を感じてこれることでしょう。現在、宮島沼に飛来してきたマガンは３万羽以上。壮大な生き物たちの生態を観察し、また、自然環境（野生動物）と人間生活（農業など）の共存について学び、環境共生のあり方を考える機会としましょう！！







R275　浦臼周辺の田　ﾊｸﾁｮｳの索餌　　美唄市宮島沼（ラムサール登録湿地）　　昨年のねぐら立ち観察（濃霧です）

２年　理数科校外研修実施要項（概要）

［移り変わる自然環境から見た北海道学～宮島沼の環境調査から環境共生の在り方を学ぶ］

１　ねらい

（１）　マガン飛来数国内一の宮島沼におけるマガンねぐら入り（夕方から日没）、ねぐら立ち（早朝）の観察を通し、環境学習や生物の生態の不思議に興味・関心を高める。

（２）　マガンに関する講義を通し、湿地環境のかけがえのなさ、自然環境と人間生活の関わり、生態系の平衡、環境保全の在り方を考える機会とする。

（３）　今後の課題研究の展望を考える機会とする

（宮島沼研究～湿地環境の研究、マガンの生態に関する研究）

２　内　容

（１）　宮島沼マガンねぐら入り、ねぐら立ちの観察

（２）　生息環境としての宮島沼周辺の観察

（３）　マガンに関するレクチャー　　宮島沼水鳥・湿地センター　牛山克巳　氏

（４）　活動のまとめとしてポスター製作

※小学生、または中学生に自分たちの活動を紹介し、伝えてみよう

特に自分たちが興味関心を抱いた点に焦点をあて活動リポートをまとめてみよう

３　日　程

平成２５年４月２５日（木）６校時より　　14:20　学校前　バス出発

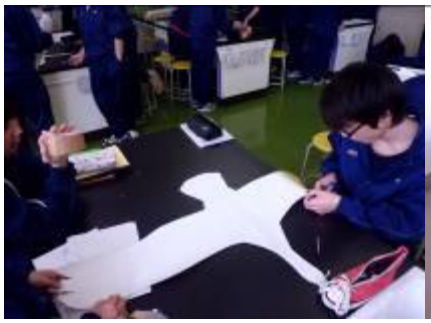
平成２５年４月２６日（金）５校時まで　　５，６校時　まとめの活動の予定です

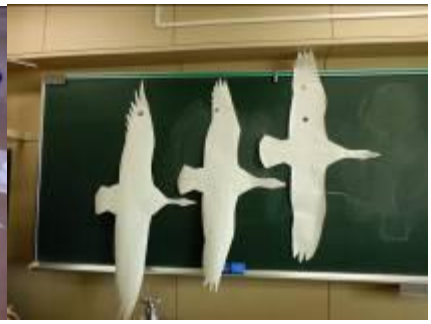
滝高フロンティアサイエンス通信

◎　４月２５日（木）
１４：２０　学校出発（R275 でバスからマガン、ハクチョウの観察）
１５：２０　宮島沼水鳥・湿地センター着
１５：３０　マガンと宮島沼と農業　マガンの観察について、個体数調査について（牛山克巳氏より講話）
１６：３０　センター内見学等（周辺自然観察など）　各自
１７：３０　マガンねぐら入り観察　～班ごとに個体数調査に挑戦
１８：４５　宮島沼水鳥・湿地センター出発
１８：５５　月形温泉ホテル到着
１９：００　活動のまとめ（ふりかえり）
１９：３０　夕食　入浴
２１：３０　就寝準備　　２２：００　完全消灯
◎　４月２６日（金）
３：３０　起床　　３：４５頃　宮島沼へ移動　貸し切りバス
４：００　宮島沼着　『マガンねぐら立ち観察、その他野鳥観察（さえずり）』（牛山氏よりガイド）
５：３０　月形温泉ホテルへ　貸し切りバス（状況により移動時間は変更します）
５：４５　活動のまとめ（ふりかえり）班ごと
６：００　入浴　朝食　休息
９：３０　準備
９：４５　宮島沼へ移動　貸し切りバス
１０：００　『マガン採食場所の観察、ふゆみずたんぼ　宮島沼の成り立ち、宮島沼周辺の自然観察』
１１：１５　月形温泉ホテルにて昼食（弁当）
１２：００　月形温泉ホテル発
１３：００　滝川高校着
１３：１５　５、６時間目授業（活動のまとめ）
『展示用活動報告ポスター制作、課題研究テーマ検討、活動アンケート』

理数科校外研修「宮島沼巡検」事前学習

２学年理数科では、今回の宮島沼巡検にむけ事前学習に取り組んでいます。課題研究、理数生物、理数地学の時間を活用し、生態系のバランス、自然環境の保全、に関する講義、宮島沼に関する調べ学習に取り組みました。また、昨日は自然観察の心得、野外活動の注意事項を学びました。また、主な水鳥として、オオハクチョウ、マガン、マガモの実物大飛翔図を模造紙で作成しました。あわせて、それぞれの重さをペットボトルで体感し、水鳥の生態や行動に関して興味関心を高める活動となりました。





マガモ（重さ　最大 1500g）　　オオハクチョウ（重さ　最大 12000g）　マガン（重さ　最大 2500g）